

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「技能」について、リコーダーのタンギング奏法ができる児童が増えた。また、運指表を見ながら繰り返し練習することで運指が定着し、なめらかにふける児童が増えてきた。
 - ・「知識」について、各教材で注目させたい音楽の要素をしばり、繰り返し学習することによって知識が身につく、それを使って学習を深める児童が増えた。
 - ・「思考・判断・表現」について、曲想と音楽の要素を関わらせた鑑賞の指導をすることにより、感じ取ったことと知識とを関連させて聴こうとする児童が増えた。
- 合唱の学習では、曲に合った歌い方や強弱を意識して表現しようとする児童が増えた。

(2) 課題

- ・「知識・技能」について、曲想と旋律の特徴とのかかわりについて理解が難しい児童が多い。表したい音楽を表現するために必要な音楽の要素が身に付いていない。
 - ・「思考・判断・表現」について、得た知識を生かして「どのような音楽にしたい」という表現につなげることが難しい。
- 自分の考えを全体に伝えたりすることが苦手な児童がいる。考えたこと、感じたことを全体に共有できる場を増やし、学びを深めることに繋げていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器楽では、鍵盤ハーモニカや打楽器の奏法の基礎基本の定着を図る。	歌詞の内容にも注目させ、曲の特徴に合った表現につなげていく。	体を使って表現したり、友達とかかわりながら活動したりすることで楽しさを味わわせ、意欲的に表現に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・スモールステップで技能の習得に取り組む。 ・題材の中で、大事な音楽の要素をしばって、知識の定着を図る。	・様々な曲想の音楽に触れ、感じ取ったことを言語化させるようにする。 ・音楽づくり領域を中心に、音楽の要素をしばって指導展開を工夫するとともに、友達の考えを共有する場を設ける。	題材ごとに見通しをもたせたり、振り返りの時間を設けたりする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・器楽では、リコーダーの運指を丁寧に指導する。歌唱では、呼吸の仕方、発音の仕方を押さえて、様々な歌い方を習得させる。 ・既習曲を振り返りながら、音楽の要素を反復していくことで、知識の定着を図る。	・様々な曲想の音楽に触れ、音楽の要素を振り返りながら教材曲に取り組み、自分の思いに応じた表現方法を試す場を設定する。 ・グループ活動を取り入れて、様々な考え方に触れる機会を設ける。	・題材ごとに見通しをもたせたり、振り返りの時間を設けたりする。 ・集団の中で自分の役割を生かして演奏に取り組むという責任感をもたせて演奏に臨めるようにする。